

ガス採取器 GV-100S

特 徴



- ◆簡単操作で、どこでも、誰でも、その場で短時間に測定が可能です。
- ◆ガス検知管（販売品）の交換により、あらゆるガスの濃度の測定が可能です。
- ◆気体吸引後、ガス検知管の変色層の先端の目盛をそのまま読み取るだけの、わかりやすい直読式です。
- ◆吸引量を調整することで、幅広い測定範囲のカバーが可能です。
- ◆独創のカタチは握りやすさ重視で、金属表面の露出がない防爆構造です。

ポ イ ン ト

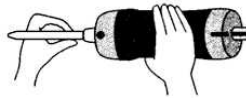
気体採取器とは、一定量の試料気体を、検知管に通気させるための吸引ポンプです。自転車の空気入れと正反対の役目をします。完全に押し込んだハンドルを一気に引くことにより、シリンダ内に真空状態をつくり、接続した検知管を通して試料気体を急速に吸引する機能をもっています。測定器の分類では、シリンダ形真空方式と呼ばれ、GV-100Sは重量わずか240g、内容積100mlのハンディな設計が特徴です。

操 作 手 順

1. 検知管をセット

まず測定したい気体の検知管を用意します。

- ①採取器のチップブレーカで両端をカットします。
- ②検知管はG⇒マークを気体採取器に向け、インレットゴムに差し込みます。



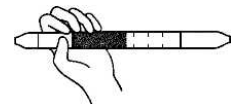
2. 一気にハンドルを引く

- ③シリンダとシャフトのガイドマークを合わせます。
- ④測定場所でハンドルを一気に引きます。そのまま吸引時間の経過を待ちます。

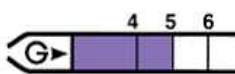


3. 目盛を読み取る

- ⑤吸引後、検知管に鮮やかな反応色が現れます。測定時間（読み取りまでの時間）の経過後、変色層の先端の目盛を読み取ります。その数値が気体の濃度です。

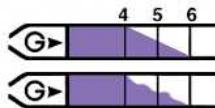


4. 濃度目盛の読み取り



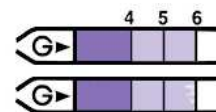
変色層先端が平らな場合
変色層先端の数値を読取る。

この場合は、測定値 5%



変色層先端が斜めの場合
変色層の斜め部分の中間を読取る。

4 と 6 の間で測定値 5%



変色層の先端の色が淡い場合
淡い変色層の先端と濃い変色層の先端の中間を読取る。

4 と 6 の間で測定値 5%